

## 研究概要

### 共同研究 「正信念佛偈」 データベースと eラーニングの構築ーその2

【研究代表者】 深見友紀子 （発達教育学部児童学科教授）

【研究協力者】 黒田義道 （発達教育学部児童学科准教授）

【研究協力者】 遠山和大 （岡山大学教育開発センター助教）

【研究協力者】 野村伸夫 （元本学教授・非常勤講師）

「正信念佛偈（正信偈）」は、真宗各派において日常的に用いられる偈文の一つであり、読誦する際の旋律は、それぞれの派によって独自に定められている。

本研究は、真宗教団連合に加盟する真宗10派<sup>※</sup>の勤行において、それぞれ最も標準的に用いられている「正信偈」の旋律を収録・採譜することによって、各派ごとの旋律の差異を音楽的な観点から明らかにするとともに、各派「正信偈」の音声・楽譜をデータベース化することを目的としている。また、このデータベースはウェブ上に公開し、本学学生が「正信偈」を学習する際のeラーニング教材として提供することになっている。

本研究は、昨年度より2ヶ年度にわたって進めており、昨年度には、10派のうち本願寺派・大谷派・佛光寺派・興正派・木辺派の5派について、各派1～2種類（計7種類）の旋律の収録と採譜を行った。なお旋律の収録に際しては、各派が保有する録音データの提供を受けることができた。採譜された楽譜は、電子化し、録音データとともにウェブコンテンツとしてまとめ、採譜に関してはさまざまな解釈があると思われたため、現代作曲家による校閲も経た。

本年度は、この校閲による知見を電子楽譜に反映させる作業を行いながら、残る高田派・出雲路派・誠照寺派・三門徒派・山元派の5派について、昨年度と同様、「正信偈」の旋律を調査し、楽譜化を行う。最終的には、真宗10派の「正信偈」の電子楽譜、（許諾がとれた）録音データ、およびそれぞれの旋律に対する解説などをウェブコンテンツとしてまとめて「正信偈」eラーニング教材を完成させ、ウェブ上で公開する予定である。

<sup>※</sup>真宗10派とその本山：本願寺派（京都市、本願寺）・大谷派（京都市、真宗本廟）・高田派（津市、専修寺）・佛光寺派（京都市、佛光寺）・興正派（京都市、興正寺）・木辺派（野洲市、錦織寺）・出雲路派（越前市、毫撰寺）・誠照寺派（鯖江市、誠照寺）・三門徒派（福井市、専照寺）・山元派（鯖江市、證誠寺）